

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アテクト
 コード番号 4241 URL <http://www.atect.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部本部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 小高 得央
 (氏名) 渡辺 弘之

TEL 072-967-7000

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	578	△14.3	60	△34.6	61	△29.3	27	△63.8
26年3月期第1四半期	675	3.0	92	50.7	87	129.9	74	57.7

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 35百万円 (△59.6%) 26年3月期第1四半期 89百万円 (228.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	6.68	6.61
26年3月期第1四半期	18.68	18.67

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	3,381	1,200	35.1
26年3月期	3,509	1,203	33.9

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 1,185百万円 26年3月期 1,189百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	2,550	2.0	275	6.8	220	△19.4	150	3.1	37.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
 平成27年3月期の第2四半期(累計)連結業績予想は行っていません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) トライアル株式会社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	4,207,200 株	26年3月期	4,207,200 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	153,167 株	26年3月期	154,707 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	4,053,034 株	26年3月期1Q	4,000,400 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の国内経済は、企業収益の改善や個人消費の持ち直し、公共投資の増加等を反映して、景気の回復基調は持続しています。欧米市場については、米国における景気の拡大、欧州での景気の底入れ等、景気は回復傾向にあります。一方、中国では成長率が鈍化し、アジア新興国においても景気は低迷しており足踏み状態となりました。

当社グループは、ここ数年の生産変革活動を中心とした事業構造改革により、強固なコスト競争力を構築、全ての製品アイテムにおいて黒字化が可能となり、コスト・品質・納期のあらゆる面で高度なモノづくりを実現しながら、収益性と財務体質の改善に努めて参りました。

このような中、当第1四半期連結累計期間での営業利益率は10.5%と高水準を維持しております。当第1四半期連結累計期間の業績は前年同期比、減収、減益となりましたが、前第1四半期連結累計期間の半導体資材事業につきましては中国家電製品のエコポイント特需により例年のない売上が計上されました。当期の売上推移は平準化されており、計画通りの受注が確保できております。

また、当期の重点施策として、衛生検査器材事業の培地工程の大幅な生産性向上が計れたことで、これらの設備の余力分の活用と設備改良投資により、検査試薬事業の本格立ち上げに努めております。これらの施策により、前連結会計年度と比較し増収、増益である当連結会計年度の事業計画に対し堅調に推移しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は578百万円（前年同期比14.3%減）、営業利益60百万円（前年同期比34.6%減）、経常利益61百万円（前年同期比29.3%減）、四半期純利益27百万円（前年同期比63.8%減）となりました。

セグメントの概況は次の通りであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は変更後の区分に基づいております。

① 半導体資材事業

半導体資材事業につきましては、顧客からの値下げ要求と台湾競合メーカーとの競争の下、生産拠点を韓国へ一本化、固定費の大幅圧縮を図りました。また、円安効果を最大限に取り込むべく、主要部材の100%日本調達を完了し、尚一層のコスト競争力強化によるシェア拡大に努めて参ります。加えて、4Kテレビの伸長、国内既存顧客の円安による受注回復等、営業体制、サプライチェーンの再構築により売上増に努めて参ります。

以上の結果、半導体資材事業の売上高は183百万円（前年同期比33.7%減）となり、営業利益は13百万円（前年同期比71.8%減）となりました。

② 衛生検査器材事業

衛生検査器材事業につきましては、当期販売戦略の最重要テーマとして、培地製品の拡充による収益構造の改善を目指し、新たな営業体制をスタートさせました。本施策に加え、前期完成した新生産ライン（高騰を続けるポリスチレン材の上昇分を吸収する自社開発設計ライン）により、3%の営業利益率改善を目指し、通期で10%以上の営業利益率達成に向け、活動して参ります。当第1四半期連結累計期間の営業利益率は11.1%と大幅に改善致しました。

以上の結果、衛生検査器材事業の売上高は、376百万円（前年同期比2.1%減）となり、営業利益は41百万円（前年同期比8.0%増）となりました。

③ PIM（パウダー・インジェクション・モールディング）事業

PIM材料販売においては、当社の独自製品であるバインダー（金属やセラミックス粉末に添加する成形助剤）、フィードストック（金属やセラミックスの粉末とバインダーを混練した後、射出成形機に投入するためにペレット化したもの）製品について、従来のSUS、セラミックス中心の販売から、チタン材料の新規受注を獲得し、初めて月1トンを超える生産量となりました。

CIM（セラミックス・インジェクション・モールディング）製品については、電子・電気が進む自動車分野、ハイパワー半導体分野、クラウド・ストレージ等、IT分野についてAlN（窒化アルミ）ヒートシンクを中心に商品化技術を進めております。数年先の事業拡大に向け、経営資源を集中させ、早期事業化に努めて参ります。

以上の結果、PIM事業の売上高は、25百万円（前年同期比22.9%増）となり、営業利益は7百万円（前年同期比3.0%増）となり、当第1四半期連結累計期間では、過去最高の売上高、営業利益となりました。

④ 検査試薬事業

当第1四半期連結累計期間から、医療・臨床分野向けの新事業である、検査試薬事業立ち上げに着手致しました。これまで食品分野中心に展開してきた衛生検査器材事業に対し、より大きな市場規模を有する医療・臨床検査分野に進出することで、既存設備の24時間フル稼働体制を構築し、量による拡大(売上増)、コストダウンを計り、当社グループの売上、利益の拡大に貢献できるよう、新たな事業として成長させて参ります。

以上の結果、検査試薬事業の売上高は、0百万円となり、営業損失は1百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べ3.6%減の3,381百万円となりました。

これは、「機械装置及び運搬具」が111百万円増加する一方、「現金及び預金」が222百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ5.4%減の2,181百万円となりました。

これは、「1年内返済予定の長期借入金」が20百万円増加する一方、「短期借入金」が100百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ0.2%減の1,200百万円となりました。

これは、「為替換算調整勘定」が8百万円増加する一方、「利益剰余金」が13百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月13日発表の通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期会計期間より、トライアル株式会社は、平成26年5月2日付にて清算終了したため、連結の範囲より除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,041,954	819,769
受取手形及び売掛金	321,064	327,922
商品及び製品	78,473	78,713
仕掛品	14,891	18,375
原材料及び貯蔵品	81,737	105,473
繰延税金資産	51,143	83,956
未収還付法人税等	3,716	-
その他	42,219	44,500
貸倒引当金	△1,724	△1,980
流動資産合計	1,633,477	1,476,730
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	593,789	591,339
機械装置及び運搬具(純額)	256,362	367,643
土地	509,974	509,974
建設仮勘定	181,884	141,759
その他	31,399	30,470
有形固定資産合計	1,573,411	1,641,186
無形固定資産		
その他	96,220	101,935
無形固定資産合計	96,220	101,935
投資その他の資産		
投資有価証券	2,438	2,494
繰延税金資産	182,691	138,277
その他	21,524	21,812
貸倒引当金	△448	△567
投資その他の資産合計	206,205	162,017
固定資産合計	1,875,837	1,905,138
資産合計	3,509,314	3,381,869

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	284,659	284,182
短期借入金	100,000	-
1年内返済予定の長期借入金	474,408	494,848
1年内償還予定の社債	80,000	80,000
リース債務	81,238	77,795
未払金	97,121	99,765
未払法人税等	7,326	2,779
賞与引当金	36,650	20,577
設備関係支払手形	2,275	2,640
その他	38,780	82,733
流動負債合計	1,202,460	1,145,323
固定負債		
社債	70,000	70,000
長期借入金	990,661	929,814
リース債務	35,568	29,462
繰延税金負債	161	159
その他	6,808	6,301
固定負債合計	1,103,200	1,035,738
負債合計	2,305,660	2,181,061
純資産の部		
株主資本		
資本金	729,645	729,645
資本剰余金	649,645	649,738
利益剰余金	△88,224	△101,674
自己株式	△74,491	△73,749
株主資本合計	1,216,573	1,203,958
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	715	752
為替換算調整勘定	△28,089	△19,220
その他の包括利益累計額合計	△27,373	△18,468
新株予約権	14,453	15,317
純資産合計	1,203,653	1,200,808
負債純資産合計	3,509,314	3,381,869

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	675,064	578,787
売上原価	354,129	304,925
売上総利益	320,935	273,862
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	50,629	22,970
賞与引当金繰入額	15,434	14,104
貸倒引当金繰入額	50	372
その他	161,966	175,641
販売費及び一般管理費合計	228,080	213,089
営業利益	92,854	60,773
営業外収益		
受取利息	489	95
為替差益	11,527	6,747
受取賃貸料	1,437	514
その他	1,021	2,056
営業外収益合計	14,476	9,414
営業外費用		
支払利息	7,640	5,473
社債利息	575	322
減価償却費	4,331	1,651
産業廃棄物処理費	5,200	-
その他	2,191	963
営業外費用合計	19,939	8,411
経常利益	87,391	61,776
特別利益		
新株予約権戻入益	3,068	2,013
固定資産売却益	1,139	-
特別利益合計	4,207	2,013
特別損失		
固定資産除却損	2,705	-
製品補償損失	-	24,410
特別損失合計	2,705	24,410
税金等調整前四半期純利益	88,893	39,379
法人税、住民税及び事業税	8,280	725
法人税等調整額	5,905	11,579
法人税等合計	14,185	12,304
少数株主損益調整前四半期純利益	74,707	27,074
四半期純利益	74,707	27,074

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	74,707	27,074
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	70	36
為替換算調整勘定	14,278	8,868
その他の包括利益合計	14,349	8,904
四半期包括利益	89,057	35,979
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	89,057	35,979
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。